

ここが聞きたい!!

5名が登壇

総合評価方式中止・ 公契約条例制定を!

広田清晴 議員

問 「公契約条例」制定は町と委託事業者との関係において双方の社会的道義を大切にすると共にそこに働く労働者の資金や労働条件を確保することを保証する。意義を問うと共に「公契約条例」制定の努力を求め。

答 「公の機関を一方の当事者とする契約」と考える。内容は労働者の資金や労働条件、地元産業の育成等々が適正に確保されと考えている。現行法制度の適正な運用により対処し労働者の賃金や労働条件が適正に確保されるよう引き続き一層の法令順守を

図りたいと考えている。

問 6千万円以上の入札予定価格で実施している総合評価方式による落札決定は、周防大島町の指名競争入札にはふさわしくない。試行の段階でもまずい点があれば取りやめることが大事。見解を問う。

答 現在試行の段階、もう少し実施が必要。

要望 「もう少し」と言っている状況では大島から撤退業者が生まれる。点数の多い業者の独り勝ちは絶対だめ。やめるよう求める。

問 不況の中、工事の分割発注は大事と位置付けている。推進を求める。

答 現場状況が前提の分割発注を行っていきたい。

ナルトビエイの 駆除を早急に!

小田貞利 議員

問 ナルトビエイの被害は、有明海、瀬戸内海西部等で数多く報告され、被害額も数億円と見積もられている。

本町でも同様に、漁業者からの被害報告があいつぎ、専門の水産研究所からもナルトビエイの食害が報告された。被害状況は、陸上の鳥獣被害を上まわる模様。早急な対応を望む。

答 ナルトビエイの駆除は、県下では、宇部市と山陽小野田市で国の補助事業で実施しており、捕獲後、地元の肥料企業と提供しその処理を行っているようだ。

本町でもナルトビエイによる魚介類への食害被害が多大になっているとのことだが、現在の被害数量や金額は把握できていない。早急に被害状況を調査し、水産事務所の指導を仰ぎ、関係漁協と協議を行い対策を講じたい。



大量に捕獲されたナルトビエイ